

授業科目名	観光地理学	担当教員	塩川 太郎 中尾 清
必修の区分	選択		
単位数	2単位		
授業の方法	講義		
開講年次	2年第3クォーター		
講義内容	人文地理学の一分野である観光地理学は、地域の環境や歴史、文化などを分析し、持続可能な観光地域づくりを考える学問である。本講義では、「温泉観光」「自然観光」「農村観光」「歴史文化観光」「都市観光」の5つの代表的な観光地域の例を用いてその形成過程、機能、構造などを学び、観光地のあり方を考える。授業の後半ではテーマごとに観光地のあり方に関する討論を行い、観光地理学への理解を深める。		
到達目標	観光地域の形成、機能、構造を理解し、多様な観光地域づくりや観光地のあり方を考えることができる。 観光地理学の観点から但馬の観光地域について理解することができる。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「授業紹介」授業に関するガイダンス、観光地理学とは（塩川） 2. 「観光と観光地域」日本と海外の観光地域、観光地域のあり方（塩川） 3. 「日本の温泉観光地域1」温泉観光地域の形成と現状（塩川） 4. 「日本の温泉観光地域2」有馬温泉、城崎温泉の例（中尾） 5. 「海外の温泉観光地域」台湾温泉の形成過程と現状（塩川） 6. 「自然観光地域」山岳リゾート、海岸リゾート（塩川） 7. 「農山村観光地域」農山村の観光政策とグリーンツーリズム（塩川） 8. 「日本の歴史文化観光地域」佐原、倉敷等の例（塩川） 9. 「海外の歴史文化観光地域」ドイツのハイデルベルグ、台湾の老街の例（塩川） 10. 「都市観光地域」東京とパリの都市観光（塩川） 11. 「但馬の観光地域」出石城下町、豊岡市の近代化遺産（塩川） 12. 「まとめ」観光地理学の課題（塩川） 		
事前・事後学習	事前：次回講義内容に関連したキーワードについて調べておくこと。 事後：授業で学んだ内容や討論に関するミニレポートを作成し、提出すること。		
テキスト	適宜資料を配布する。		
参考文献	適宜紹介する。		
成績評価の基準	ミニレポート（50%）、レポート（50%）により評価する。		
履修上の注意 履修要件			
実践的教育	該当しない。		
備考欄	定員が上限を超えた場合は抽選を行う。		